

第6回基本政策部会 議事要旨

1. 日時

令和2年1月20日（月） 13:00～14:30

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、青木委員、石田委員、片岡委員、栗原委員、白坂委員、常田委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 松尾事務局長、行松審議官、吉田参事官、星野参事官、中里参事官、森参事官、鈴木参事官

(3) 関係省庁等

平内閣府副大臣、和泉内閣総理大臣補佐官

内閣官房 国家安全保障局 富川企画官、内閣衛星情報センター 今西総務課長、

内閣府 総合海洋政策推進事務局 森下参事官、宇宙開発戦略推進事務局 滝澤参事官、

総務省 森下宇宙通信政策課長、外務省 山地宇宙・海洋安全保障政策室長、

文部科学省 藤吉宇宙開発利用課長、農林水産省 松本技術政策室長、

経済産業省 浅井宇宙産業室長、国土交通省 伊崎技術開発推進室長、

環境省 吉川脱炭素化イノベーション研究調査室長、

防衛省 北岡宇宙・海洋政策室長

(4) オブザーバ

折木宇宙政策委員、山崎宇宙政策委員、山川 JAXA 理事長

(5) 調査機関

三菱総合研究所 内田主任研究員

4. 議事要旨 （○：質問・意見等 ●：回答）

(1) 研究機関・関係団体ヒアリング

資料1に基づき、次期宇宙基本計画の策定に向けた主な論点について事務局から説明があり、委員より以下のような意見があった。

○状況認識として、国だけでなく、民間も含めてプレイヤーが多様化している点や、ロケット・衛星だけでなく軌道上サービスや宇宙旅行などアプリケーションも多様化しているという点をしっかり踏まえる必要があるのではないか。

○宇宙産業の発展が国の経済成長に強く貢献できる、という点について、強いメッセージを打ち出すべきではないか。

○民間との連携については、協力、分担、活用など、さらに具体的な検討が必要ではないか。

○全体として、今回の基本計画が目指す姿についてのわかりやすいキーワードがあった方がよいのではないか。

- 今後の宇宙分野での国際的なルール形成が必要な分野として STM（宇宙交通管制）の重要性が高まっているのではないかと。
- 安全保障分野では、今後脆弱性評価をし、具体的に対策が必要な宇宙アセット、システムを特定し、戦略的に取り組んでいく必要があるのではないかと。
- 安全保障分野の成果の民生利用については、技術だけでなく、情報・データも含めて進めていく必要があるのではないかと。
- 宇宙データの利用については、官のみならず、民のユーザーニーズをしっかりと取り込んでいく必要があるのではないかと。
- 宇宙科学については、科学分野のみならず、外交や安全保障上のプレゼンス確保や、産業基盤強化につながるソフトパワーとしての役割をもっと打ち出していくべきではないかと。
- 技術開発について、技術というとハードが想定されがちであるが、ハードのみならずソフトウェアも含めた技術が重要である点について留意が必要ではないかと。
- 人材について、技術面での人材のみならず、宇宙と市場をつなぐ人材についても育成していく必要があるのではないかと。

以上